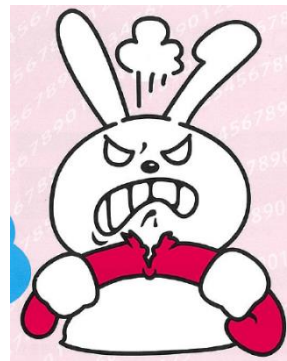


# 「保険証廃止」にまつわる 保険者としての諸問題

2024年8月31日

共通番号・カードの廃止をめざす市民連絡会  
「集会 どうなる保険証・どうする私たち」

東京土建一般労働組合 木村 潮人

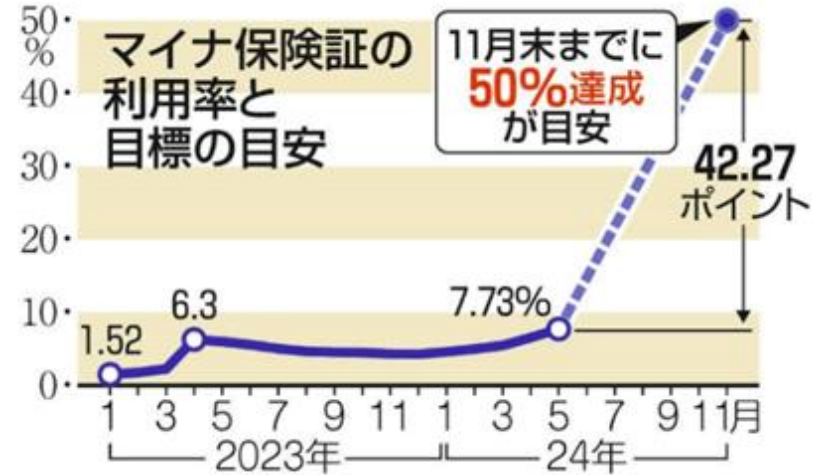


# 1. 政府は保険者にもマイナ保険証利用促進への圧力をかけている

## 1) マイナ保険証利用率の目標設定(2024年1月)

加入者のマイナ保険証の利用率について、「11月時点で利用率50%」を目安に現状に応じた具体的な目標設定を依頼(2024年1月)。インセンティブを設けて利用率向上を後押し。(5月、9月、11月)。

健保組合については、この目安の達成を、高齢者医療費への負担(後期高齢者支援金)を減額する条件の一つに盛り込んでおり、当事者からは怒りの声が上がっている。



## 2) 各保険者に取り組み報告を求める

マイナ保険証の利用促進に向けた取組状況報告フォーム ※ 全保険者等（被用者保険・地域保険）対象  
別紙  
回答期限：2024年2月26日（月）18:00

<p><b>ア) 自保険者におけるマイナ保険証の利用率の目標設定</b> ※利用率の定義：[マイナ保険証によるオンライン資格確認の利用人数 / 各医療保険者等で受け付けたレセプト枚数（外来しせのみ）]</p>	
<p>① 本年5月時点のマイナ保険証の利用率の目標値として設定した値を回答してください。 (回答) 数値（整数）を入力 ※必須 ※単位：% ※半角英数字のみ</p>	
<p>② 本年8月時点のマイナ保険証の利用率の目標値として設定した値を回答してください。 (回答) 数値（整数）を入力 ※必須 ※単位：% ※半角英数字のみ</p>	
<p>③ 本年11月時点のマイナ保険証の利用率の目標値として設定した値を回答してください。 (回答) 数値（整数）を入力 ※必須 ※単位：% ※半角英数字のみ</p>	
<p><b>イ) 限度額適用認定証を契機とした利用動費の取組状況</b> ※①～③のそれぞれの媒体での、マイナ保険証のメリット（認定証が不要となること）についての周知の取組状況（2月26日時点）を回答してください。</p>	
<p>① 限度額適用認定証の取得申請について案内する貴保険者のウェブページやチラシ等の媒体 (回答) 当てはまるものをチェック ※必須 ※ある選択肢については詳細を記載 ・ 2月26日までにウェブページやチラシ等の文言の差替 済み ・ 3月以降にウェブページやチラシ等の文言の差替 済み ・ 対応（〃）の予定なし → 理由 ・ 検討中・その他 → 自由記述</p>	
<p>② 限度額適用認定証の申請様式 (回答) 当てはまるものをチェック ※必須 ※ある選択肢については詳細を記載 ・ 2月26日までにウェブページやチラシ等の申請様式の文言の差替 済み ・ 3月末までにウェブページやチラシ等の申請様式の文言の差替 済み ・ 令和6年度印刷物からウェブページやチラシ等の申請様式の文言の差替 済み ・ 対応（〃）の予定なし → 理由 ・ 検討中・その他 → 自由記述</p>	
<p>③ 限度額適用認定証を交付する際の説明書類 ※説明書類の添付・封入を行っていない場合には、対応を必ず求めるものではありません。 (回答) 当てはまるものをチェック ※必須 ※ある選択肢については詳細を記載 ・ 2月26日までにウェブページやチラシ等の説明書類の添付・封入を行っていない 済み ・ 3月末までにウェブページやチラシ等の説明書類の添付・封入を行っていない 済み ・ 令和6年度印刷物からウェブページやチラシ等の説明書類の添付・封入を行っていない 済み ・ 対応（〃）の予定なし（説明書類の添付・封入を行っていない） ・ 対応（〃）の予定なし（その他の理由） → 理由 ・ 検討中・その他 → 自由記述</p>	
<p><b>ウ) あらゆる機会を通じた利用動費の実施状況（2月26日時点）を回答してください。</b> ※①～③のそれぞれの利用動費の実施状況（2月26日時点）を回答してください。</p>	
<p>① 電子メールやチラシ等、説明の機会等を用いた、各加入者に対するプッシュ型の（能動的な）利用動費 (回答) 当てはまるものをチェック ※必須 ※ある選択肢については詳細を記載 ・ 2月26日までに取組開始済み → 理由 ・ 3月末までに取組開始予定 → 理由 ・ 4月以降に取組開始予定 → 理由 ・ 検討中・その他 → 自由記述</p>	
<p>② ウェブページや利用の手引き等への掲載によるプル型の（受動的な）利用動費 (回答) 当てはまるものをチェック ※必須 ※ある選択肢については詳細を記載 ・ 2月26日までに取組開始済み → 理由 ・ 3月末までに取組開始予定 → 理由 ・ 4月以降に取組開始予定 → 理由 ・ 検討中・その他 → 自由記述</p>	
<p>③ 保健事業の実施時における利用動費 (回答) 当てはまるものをチェック ※必須 ※ある選択肢については詳細を記載 ・ 2月26日までに取組開始済み → 理由 ・ 3月末までに取組開始予定 → 理由 ・ 4月以降に取組開始予定 → 理由 ・ 検討中・その他 → 自由記述</p>	

別紙

マイナ保険証の利用促進に向けた取組状況報告フォーム ※全保険者等（被用者保険・地域保険）対象  
回答期限：2024年2月26日（月）18:00

**ア) 自保険者におけるマイナ保険証の利用率の目標設定**

※利用率の定義：【マイナ保険証によるオンライン資格確認の利用人数／各医療保険者等で受け付けたレセプト枚数（外来レセのみ）】

① 本年5月時点のマイナ保険証の利用率の目標値として設定した値を回答してください。

（回答）数値（整数）を入力 ※必須 ※単位：％ ※半角英数字のみ

② 本年8月時点のマイナ保険証の利用率の目標値として設定した値を回答してください。

（回答）数値（整数）を入力 ※必須 ※単位：％ ※半角英数字のみ

③ 本年11月時点のマイナ保険証の利用率の目標値として設定した値を回答してください。

（回答）数値（整数）を入力 ※必須 ※単位：％ ※半角英数字のみ

**イ) 限度額適用認定証を契機とした利用勧奨の取組状況**

※①～③のそれぞれの媒体での、マイナ保険証のメリット（認定証が不要となること）についての周知の取組状況（2月26日時点）を回答してください。

① 限度額適用認定証の取得申請について案内する貴保険者のウェブページやチラシ等の媒体

（回答）当てはまるものをチェック ※必須 ※➡のある選択肢については詳細を記載

- ・ 2月26日までに対応（ウェブページやチラシ等の文言の差替）済み
- ・ 3月以降に対応（〃）予定 ➡ 対応予定時期、2月26日までに実施が困難な理由
- ・ 対応（〃）の予定なし ➡ 理由
- ・ 検討中・その他 ➡ 自由記述

② 限度額適用認定証の申請様式

（回答）当てはまるものをチェック ※必須 ※➡のある選択肢については詳細を記載

- ・ 2月26日までに対応（限度額適用認定証等の申請様式の文言の差替）済み
- ・ 3月末までに対応（〃）予定
- ・ 令和6年度印刷物から対応（〃）予定
- ・ 対応（〃）の予定なし ➡ 理由
- ・ 検討中・その他 ➡ 自由記述

③ 限度額適用認定証を交付する際の説明書類

※説明書類の添付・封入を行っていない場合には、対応を必ず求めるものではありません。

（回答）当てはまるものをチェック ※必須 ※➡のある選択肢については詳細を記載

- ・ 2月26日までに対応（説明資料の文言の差替）済み
- ・ 3月末までに対応（〃）予定
- ・ 令和6年度印刷物から対応（〃）予定
- ・ 対応（〃）の予定なし（説明資料の添付・封入を行っていない）
- ・ 対応（〃）の予定なし（その他の理由） ➡ 理由
- ・ 検討中・その他 ➡ 自由記述

**ウ) あらゆる機会を通じた利用勧奨の取組状況**

※①～③のそれぞれの利用勧奨の実施状況（2月26日時点）を回答してください。

① 電子メールやチラシ等、説明の機会等を用いた、各加入者に対するプッシュ型の（能動的な）利用勧奨

（回答）当てはまるものをチェック ※必須 ※➡のある選択肢については詳細を記載

- ・ 2月26日までに取組開始済み
- ・ 3月末までに取組開始予定 ➡ 理由
- ・ 4月以降に取組開始予定 ➡ 対応予定時期、理由
- ・ 取組の予定なし ➡ 理由
- ・ 検討中・その他 ➡ 自由記述

② ウェブページや利用の手引き等への掲載によるプル型の（受動的な）利用勧奨

（回答）当てはまるものをチェック ※必須 ※➡のある選択肢については詳細を記載

- ・ 2月26日までに取組開始済み
- ・ 3月末までに取組開始予定 ➡ 理由
- ・ 4月以降に取組開始予定 ➡ 対応予定時期、理由
- ・ 取組の予定なし ➡ 理由
- ・ 検討中・その他 ➡ 自由記述

③ 保健事業の実施時における利用勧奨

（回答）当てはまるものをチェック ※必須 ※➡のある選択肢については詳細を記載

- ・ 2月26日までに取組開始済み
- ・ 3月末までに取組開始予定 ➡ 理由
- ・ 4月以降に取組開始予定 ➡ 対応予定時期、理由
- ・ 取組の予定なし ➡ 理由
- ・ 検討中・その他 ➡ 自由記述

### 3)あらゆるシーンでマイナ保険証利用勧奨を求める

#### ○制度周知(2022年～)

- ・マイナンバーカードの積極的な取得の依頼(2022年度)、
- ・マイナンバーカードと健康保険証の一体化に関する周知広報の依頼(2023年度に計3回)、
- ・「マイナ保険証、一度使ってみませんか？」キャンペーン(2023年10月)、
- ・あらゆる機会(限度額適用認定証申請時、医療費通知、保健事業等)を契機とした利用勧奨の依頼(2024年1月)。

#### ○システム改修(～2024年12月)

保険証廃止に向けて保険者のシステム改修を行うよう指示。財政支援を行う。

(表面)

国民健康保険限度額適用認定証														
有効期限		年	月	日										
交付年月日		年	月	日										
記号	番号		(枝番)											
組合員	住所													
	氏名													
対象者用	氏名													
	生年月日	年 月 日												
発効期日		年 月 日												
適用区分														
保険者番号並びに保険者の名称及び印		<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>												
<p>マイナ保険証(※)を利用すれば、事前の手続きなく、高額療養費制度における限度額を超える支払いが免除されます。 限度額適用認定証の事前申請は不要となりますので、 マイナ保険証をぜひご利用ください。 ※ 電子資格確認に利用される個人番号カードをいいます。</p>														



## 2. マイナ対応で保険者の事務効率悪化

### A国保組合での保険証発行までの業務フロー

日数	従来の処理	マイナンバー導入後の処理
1日目	①加入申込（住民票、保険証コピー等） ②審査 ③被保険者データを既存システムへ登録 ④決裁	①加入申込（住民票、保険証コピー等は不要） ②住基ネットて番号確認（住基ネット） ③被保険者データの仮登録（既存システム） ④仮の加入者情報の抽出（既存システム） ⑤④を中間サーバーに登録（情報連携用端末）
2日目	⑤保険証出力 ⑥保険証郵送	⑥被保険者枝番の取得（統合専用端末） ⑦被保険者枝番の取込み（既存システム） ⑧健康保険、世帯番号の取得（情報連携用端末） ⑨審査 ⑩決裁
3日目		⑪保険証出力 ⑫保険証郵送 ⑬確定した加入者情報の抽出（既存システム） ⑭⑬を中間サーバーに登録（情報連携用端末） ⑮加入者情報の登録結果の取得（情報連携用端末） ⑯加入者情報の登録結果の取込み（既存システム） ⑰副本の作成（既存システム） ⑱副本の登録（情報連携用端末）
4日目		⑲副本登録結果の取得（情報連携用端末） ⑳副本登録結果の取込み（既存システム）
（翌月初） 1日目		㉑新規加入者の所得照会データの抽出（既存システム） ㉒所得照会データの一括照会（統合専用端末）
2日目		㉓所得照会データの取得（統合専用端末） ㉔㉓の取込み（既存システム） ㉕限度額認定区分判定 ㉖限度額認定区分データの抽出（既存システム） ㉗㉖を中間サーバーに登録（統合専用端末）

### ①情報連携により省略可能になった書類

住民票の写し、健康保険証又は資格取得・喪失証明書、生活保護受給証明書・廃止決定通知書、課税証明書等

### ②番号確認書類の提出がない場合には個人番号の真正性を確認しなければならない→中間SVを介し住基ネットで確認

※住基ネットでは世帯情報を確認できない。

※外国人の在留資格も確認できない。

### ③情報連携に必要な被保険者枝番を取得するため、加入者情報の一部（氏名・生年月日・性別・個人番号等）を既存システムから抽出し、統合専用端末から中間SVへ仮登録

### ④情報連携は問題が多く、書類提出・電話照会等の対応が残る

※健康保険情報（特に資格喪失日）の登録遅延が多いため、いまだに書類提出を求めるか、前保険者・事業所へ電話照会する運用をせざるを得ない場合がある。

※住民票が省略された場合、情報連携によって世帯情報を確認。加入時に申請された被保険者ごとに家族番号を確認し、同世帯か否かを判別する。家族加入漏れがあるかどうかは、分からない。

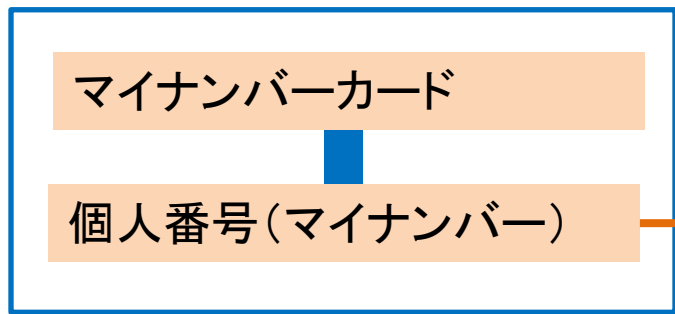
### 3. 紐づけ誤りも多数発生(東京土建ではありません)

- ・オンライン資格確認で他人情報が表示される事例、氏名・住所誤り等が**今でも多数**確認されています。
- ・医療機関の約6割が何らかのトラブルを経験。マイナ保険証が使えず、保険証を代わりに提示して事なきを得たケースや、資格確認ができないので、やむなく患者さんに10割負担を求めるケースなどが多発しています(東京保険医協会のご報告)。
- ・自分の健康情報は他人に最も知られたくない秘密情報。これが最悪、漏えいしてしまう可能性もあります。他人に医療情報が閲覧されるなどという事故は、現行の健康保険証では起こりえません。
- ・投薬・治療情報の取り違えは、病気の悪化、薬剤アレルギーなど重大な医療事故につながりかねません。
- ・これでは、厚労省が言う、「**なりすまし防止**」や「**医療の質の向上**」とは逆行します

# 1) 紐づけ誤りはなぜ起こった？ ①



山田太郎 (A) さん



マイナ保険証の申込み

紐付け(社会保険診療報酬支払基金など)



山田太郎 (B) さんが加入する医療保険者



山田太郎 (B) さん

個人番号(マイナンバー)

Bさんのマイナンバーのつもりで  
Aさんのマイナンバーを入力

紐付け

加入者情報・自己負担割合  
(70歳以上の人)・健診・受  
診歴(レセプト)・薬の情報

(医療保険者等向け中間サーバー)

誰？



こんな紐付け誤りが  
多数発生！



## 2) 紐づけ誤りはなぜ起こった？ ②

- ・保険者によるマイナンバーと加入情報の紐付けは2016年から始まりました。各保険者は被保険者にマイナンバーを聞き取りますが、聞き取れなかった時は、「**住民基本台帳ネットワーク(J-LIS)**」で、「**氏名、カナ氏名、生年月日、性別、住所**」の**5情報**を打ち込み、その人のマイナンバーを調べることでされました。
- ・ところが、住所は「一丁目2番3号」だったり、「1-2-3」だったり自治体ごとに表記バラバラで、完全一致で検索することは困難です。
- ・また、このシステムは、少し変わった漢字だと検索することができず、●表示されてしまいます。例えば齊藤の「齊」、茨城県の「茨」など。なぜか八王子市の「八」、松戸市の「松」も、●で表示されます。→●での検索はできない。
- ・少ない情報を基に検索すれば、複数の人が表示されます。保険者は複数の人のリストから、目視でその人を特定せざるを得ません。
- ・各保険者が国から登録をせかされ、目視点検を繰り返す中で、チェック漏れが生じ、登録誤りが多数発生したものとされます。
- ・健保などの「被用者保険」では、住民票の住所と保険者が持っている住所が違うことも多かった(それで良いことになっていた→今は違う)ため、住所を登録しなかった保険者もあります。⇒これでは、5情報によるマイナンバーの検索は不可能です。

### 3) 紐づけ誤りはなぜ起こった？ ③

#### 医療保険(社保・国保)のデータ

漢字氏名	カナ氏名	生年月日	性別	住所
齊藤太郎	サイトウ タロウ	1970/6/1	男	東京都八王子市中央1-2-3

漢字氏名	カナ氏名	生年月日	性別	住所
齊藤太郎	サイトウ タロウ	1970/6/1	男	東京都八王子市中央1-2-3

同姓同名、同一生年月日の人がいた場合に、複数の検索結果がヒットし、ここから正しい人を「目視点検」で見つけて個人番号を登録。

3情報  
で検索

#### 住民基本台帳ネットワーク(J-LIS)の検索結果

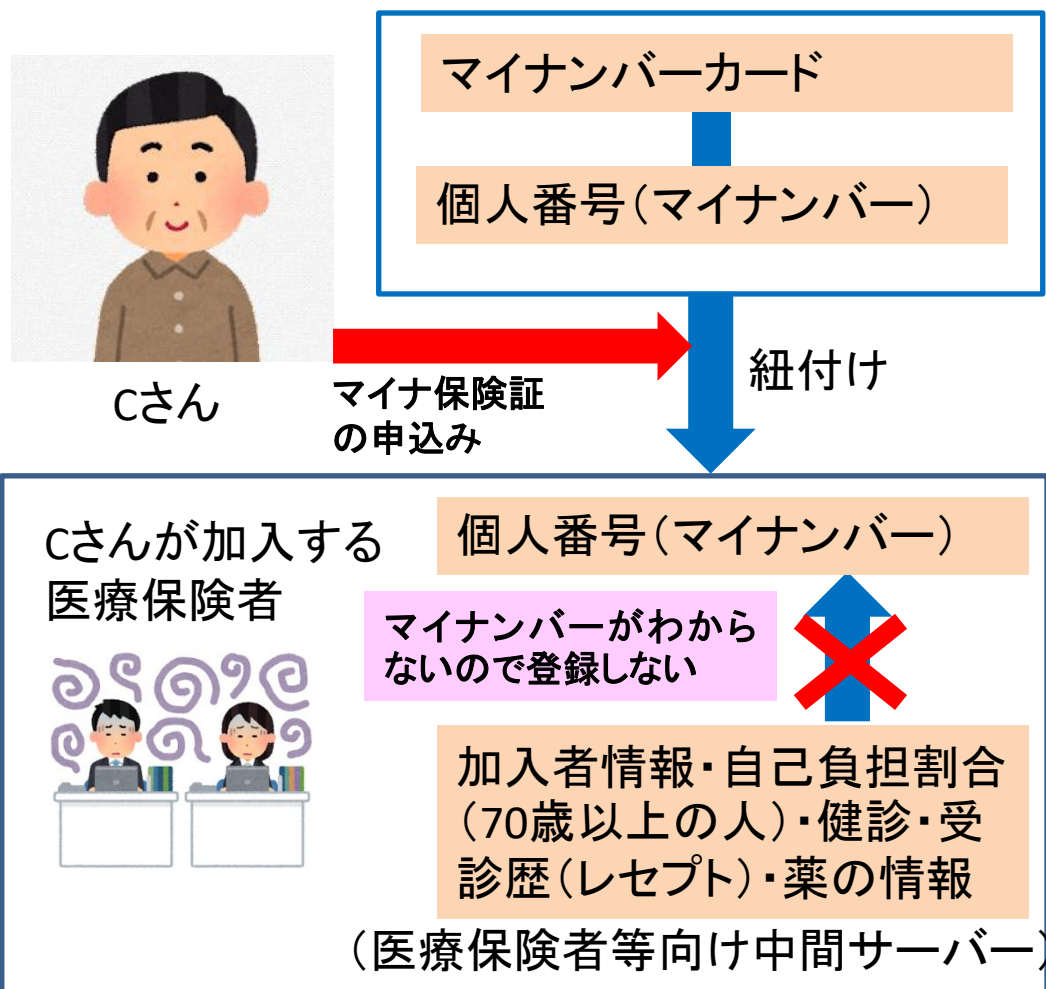
5情報  
で検索

検索結果

該当なし

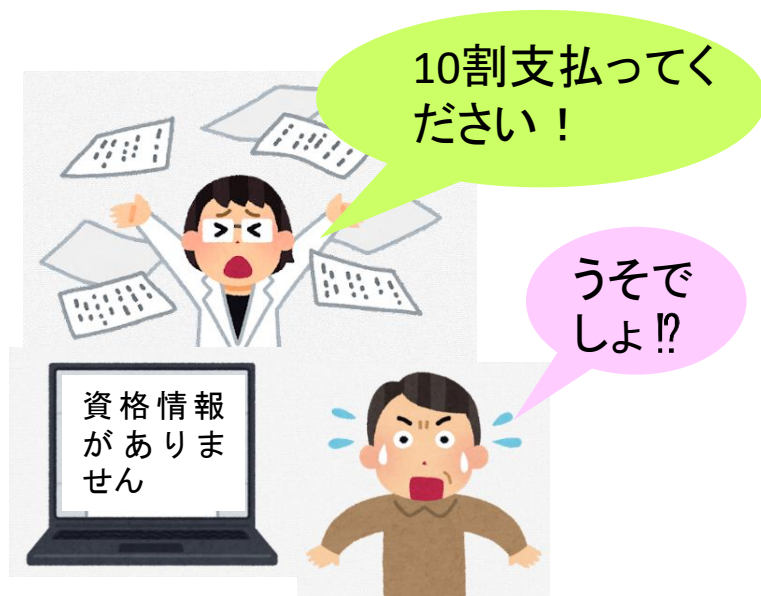
個人番号	漢字氏名	カナ氏名	生年月日	性別	住所
545689125923	●藤太郎	サイトウ タロウ	1970/6/1	男	北海道札幌市中央区すすきの…
332649147650	●藤太郎	サイトウ タロウ	1970/6/1	男	東京都立川市立飛3丁目2-1
972873180057	●藤太郎	サイトウ タロウ	1970/6/1	男	東京都●王子市中央1丁目2番3号
299965980865	齊藤太郎	サイトウ タロウ	1970/6/1	男	東京都●王子市高尾2-3-4
.....					

#### 4) マイナンバー未紐付けも多数判明！



協会けんぽの加入者の1%にあたる40万人ほどが保険情報が紐づいておらず、マイナ保険証を利用できない状態にあることが判明(テレビ朝日「報道ステーション」昨年8/15)

その後の厚労省による調査で、他保険含め77万人が未紐付けであることが判明しました。



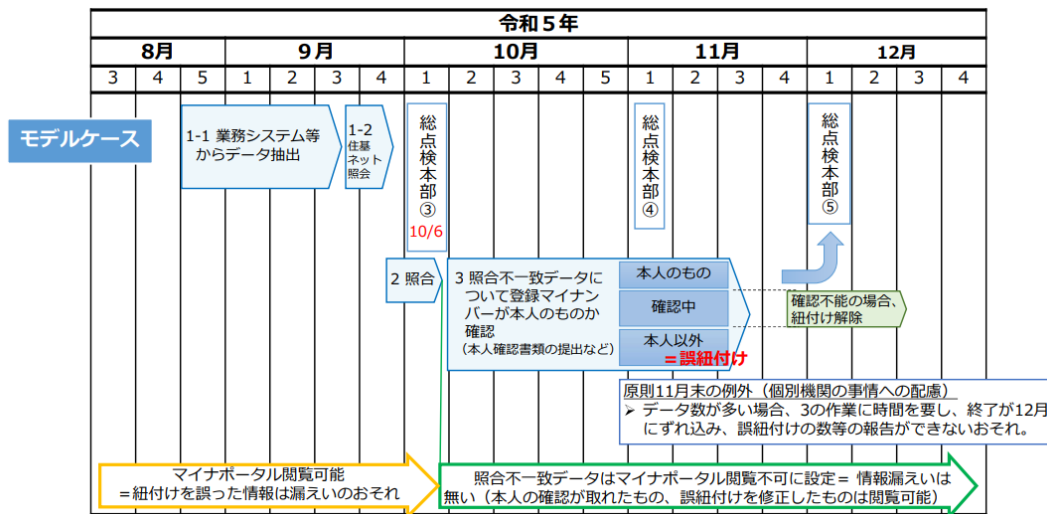
## 5) ○正確な資格情報等の登録(2023年4月～)

保険者等から加入者本人のものと異なる個人番号が登録されたため、別の方の医療情報が第三者に閲覧された事案が新たに発生したことを受け、各保険者においてオンライン資格確認等システムにおける正確な資格情報登録の徹底を求められ、総点検を行う。

2023年秋までに総点検は「終了」したと報告されましたが、チェックは保険者任せでその実効性には大きな不安があります。

現在は誤登録チェックや資格重複チェック等の仕組みが整備されてきましたが、今後も新規登録の際の誤りが発生する可能性は残されています。

少なくとも、誤りが絶対に生じることがなくなるまで、保険証廃止は延長すべきです。



6) 下四桁通知で本人にマイナンバーを確認させるというが...

大 切 な お 知 ら せ

様式 4

医療保険のデータベースに登録されている  
個人番号（マイナンバー）のお知らせ

保険証に表示されている、あなたの保険資格データは、国民健康保険制度のデータベースに登録されており、マイナ保険証をご利用いただける状態となっています。マイナ保険証をお持ちであれば、ぜひ、ご利用ください。

なお、国民健康保険制度のデータベースに登録されているあなたの個人番号（マイナンバー）は、以下のとおりです。万一、異なっている場合には、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

氏名	個人番号（マイナンバー）
山田 太郎	**** * 1234
山田 花子	**** * 5678
山田 次郎	**** * 9101

(注) 上記、個人番号は国民健康保険制度のデータベースに登録されている個人番号の下 4 桁を表示しています。

【お問い合わせ先】  
〒〇〇〇-〇〇〇〇  
〇〇県〇〇市〇〇〇  
〇〇市国民健康保険課  
TEL：〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

厚労省は全医療保険者に対し、今年10月までに、左のような通知を被保険者あてに送付して、被保険者にマイナンバーを確認してもらうことを指示。

「マイナンバーを提供した覚えはないのに何で知っているのか」  
「何を見て確認すればよいのか」  
「そもそもこれは何？」

など、かえって被保険者を不安に陥れることが心配されます。



### 3. 書面がいろいろ、保険証でいいんじゃないの…

#### 1)「資格確認書」と「資格情報のお知らせ」

●現行保険証は法施行時以降(2024年秋)から発行できず、発行された保険証は法施行から1年後までしか使えない。マイナ保険証は任意ではないのか？

●国民の大きな批判で「資格確認書」を発行

- ・マイナ保険証を持っていない人には、本人申請により「資格確認書」を発行  
当初は有料で発行する案もあったが、批判が高まると一転、無料に。  
申請が原則だが、批判が高まると一転、「保険者が職権発行しても良い」。  
ただし、「暫定措置(マイナンバー改定法附則15条「当分の間」)。
- ・マイナ保険証を持っている人には、「資格確認書」は発行しないのが原則  
ただし要介護高齢者、障害者など「要配慮者」には発行可。  
⇒「申請」又は「保険者による職権発行」
- ・マイナ保険証を持っている人には、資格取得時や高齢者の負担割合変更時に、  
資格情報を確認しやすいように「資格情報のお知らせ」を発行

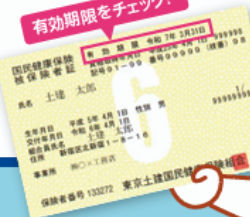
## 東京土建国民健康保険組合から 保険証に関する大切なお知らせ

2024(令和6)年12月2日以降は、保険証の新規交付ができなくなる見込みです。  
保険証の交付が廃止されたあと、加入者の皆さまの保険証がどのような取扱いになるのかをお知らせします。

※後期高齢者医療制度に移行される方は有効期限が異なります。

# 今の保険証は、12月2日以降も 2025年3月31日まで※ 使用できます!

有効期限をチェック!



受付



## 12月2日以降はどうするの?

組合員世帯に異動(家族の加入、住所変更など)が  
あった場合は、国保組合(支部)に届け出が必要です。

ただし、新たに保険証を交付することができないため、**マイナ保険証をお持ちでない方**には保険証の代わりに、「**資格確認書**」を交付します。マイナ保険証をお持ちの方には「**資格情報のお知らせ**」を交付します。

「資格確認書」、「資格情報のお知らせ」の  
扱い(使い方)については裏面をご覧ください。

**無理にマイナンバーカードを作る必要はありません!**

●東京土建国保組合の保険証・資格確認書などについて

東京土建国民健康保険組合 資格課 TEL **03-5348-2988**

●マイナンバーカードに関するお問い合わせ

マイナンバー総合フリーダイヤル TEL **0120-95-0178**



未定稿



## マイナ保険証をお持ちでない方はコチラ

### 来年度(2025年4月~)も1年有効の資格確認書を 交付しますのでご安心ください。 無理にマイナ保険証を作る必要はありません。

#### 資格確認書の扱い(使い方)

保険証の代わりに国保組合から「資格確認書」を交付します。使い方は今の保険証と同じで医療機関や薬局の窓口へ提示するだけです。

※70歳以上の方は今までとおり、「高齢受給者証」を交付します。受診する際は、「資格確認書」と「高齢受給者証」を窓口で提示してください。

※毎年3月に4月1日から1年間有効の資格確認書を交付します。

被保険者証



名称が  
変わるだけ

資格確認書



交付



## マイナ保険証をお持ちの方はコチラ

今の保険証と同じ内容が記載された「資格情報のお知らせ」を交付します。  
このお知らせは、ご自身の健康保険情報を確認してもらうとともに、マイナ保険証がシステム障害等により使えないときに、マイナンバーカードと一緒に医療機関などの窓口で提示することで受診することができます。

**注意**

**マイナ保険証をお持ちの方には「資格確認書」を交付することはできません。  
「資格確認書」が必要な方は以下をご覧ください。**

#### マイナ保険証の利用登録解除

マイナ証の利用登録された方で、利用登録を解除されたい場合は、10月(予定)から国保組合へ利用登録解除の申請をすることで、利用登録を解除することができます。その際、国保組合から「資格確認書」を交付します。

**マイナ保険証をお持ちの方でも、以下の対象者は  
本人の申請により「資格確認書」を交付します**

- マイナンバーカードを紛失した方
- マイナンバーカードの電子証明書が有効期限切れで更新中の方
- マイナ保険証での受診が困難な高齢者や障害者(介助者などの第三者が本人に同行して資格確認の補助をする必要がある場合)



## 2)「資格申立書」、最後は保険者に負担押し付けの理不尽

10割負担問題では患者、医療機関双方から批判が相次ぎ、メディアでも大きく報道され社会問題化。厚労省は昨年7月10日、トラブルへの対応を通知

●「被保険者資格申立書」の導入、保険者番号等「不詳」のまま請求

①患者は、資格情報が確認できない場合に、**記憶に基づいて**、加入している保険者や一部負担金の割合等を「**被保険者資格申立書**」に記入するよう求められる

②医療機関は、被保険者資格申立書や患者からの聞き取りの内容等から、患者の加入する保険種別を推定。資格情報等が確認できなかった場合、医療機関は保険者番号等「**不詳**」として、支払基金・国保連のいずれかに請求。

③不詳レセプト等について、審査支払機関が最終的に特定できない場合は、その医療機関に対する診療報酬の支払実績に応じて、**各保険者等が診療報酬を按分して負担。**

➡最終的に資格確認できなかった場合、関係ない医療保険者(原資は保険料！)が拠出することになる→極めて理不尽！

### 3) 被保険者と窓口に混乱が広がる！

- ・「当分の間」、保険者の判断で資格確認書を「職権発行」できる  
マイナ保険証未・非登録⇒資格確認書を申請なしで発行  
マイナ保険証登録 ⇒資格情報のお知らせを発行
- ・「医療保険者等向け中間サーバー」経由で厚労省から提供される「紐づけリスト」を自庁システムに取り込んで振り分けを行う。
- ・リストは、現在、3か月に一回提供されているが、12月2日前後以降は、1か月に1回提供されることとされた。  
⇒マイナ保険証の紐づけ、紐づけ解除が発生するごとに、「資格確認書」や「資格情報のお知らせ」を被保険者に送付しなければならない。
- ・被保険者本人の認識と、厚労省リストの内容のずれがあった場合、被保険者・受付窓口が混乱⇒「マイナ保険証を作った覚えはない！」
- ・厚労省は10月末ごろにマイナ保険証登録解除ができるシステムの運用を始めるとしているが、あと2か月となった今でも、詳細が示されていない！  
⇒マイナ関係のシステム開発にあたり、厚労省からぎりぎりまで仕様が示されない、一度示された仕様が変更されるなどが頻発しています。

現行の保険証が最も効率的で混乱を生みません！廃止撤回を求めます！